

大阪市立
聴覚
特別支援学校

対象の児童生徒
中学部 1年

困り感

聴覚に障がいがあるため、英語の発音にはかなり個人差が生じる。そのため、口話での英会話のスキルが上がりにくい。

コミュニケーションには手話を要するため、C-NET講師によるネイティブな英語が伝わりにくい。

タイトル(テーマ)
聴覚障がいのある生徒の英会話力の向上

聴覚 No 1 号
平成 26 年 月 日

取り組みの内容・授業の様子等

授業で使用するにあたり、iPadを人数分用意しました(指導者1、C-NET講師(ALT)1、生徒4)。

アプリは「Voice Tra 4U」を使用しました。日本語を使用することも可能ですが、英語のみを使用して6人のチャットを行いました。

生徒たちは、楽しんで英語での会話をしていました。また、指導者が間に入ることなく、直接C-NET講師と英語のみでコミュニケーションができていました。

《注意点です》

- ・チャット参加は2から5名です。
- ・ネットワークの関係でうまくいかないときもあります。
- ・アプリ開発をしたNICTにサポートページがあります。参考にしてください。
<http://mastar.jp/translation/index.html>
- ・ほかにも筆談アプリの「こえとら」もあります。
<http://www.koetra.jp/>



※実際のディスプレイ表示イメージです。詳細は下記をご覧ください。

成果と今後の課題

課題として、①文字入力に個人差があり、発言は文字入力早い生徒ばかりになってしまうこと、②全員の発言が見えていいのですが、先に発言した人の意見に左右され、自分の意見が出しにくい、などがある。スキルアップをするために、1対1や2対1など少人数での会話もしていく必要性を感じました。